

建設業

南澤建設株式会社

優良企業
取組事例

昭和 37 年創業の総合建設会社。住宅やマンションから、工場、公共施設、商業施設、医療施設、福祉施設など多岐にわたる工事実績を持つ。近年ではリフォーム事業も展開するなど、新しい分野への挑戦も続けている。

独自の
取組

- 産前・産後休暇や育児休業の取得、育児短時間勤務制度の利用を促進
- 男性の育児休業取得者あり
- 育児中の女性従業員に対して、制度にはない柔軟な対応を実施

従業員の要望に耳を傾け、 家庭と仕事との両立を実現！

昭和 37 年の創業以来、多様な建設事業で地域の発展を支えてきた同社。しかし一方では、男性の育児休業取得者を輩出するなど、様々な取組で従業員の家庭生活をも支えている。

総務課長の灰野さんは、1 年間の育休を取得。子どもが 3 歳になるまでは育児短時間制度も利用した（現在は小学校入学時まで利用可能）。その後は上司との話し合いを経て、現在まで始業時刻を 30 分遅らせているという。「就業規則にはありませんがダメもとで頼んでみました。この配慮がなければ働き続けることは不可能だったと思います」と灰野さんは語る。

「最近まで育休は未知の分野でした」と話すのは

代表取締役副社長の南澤さん。以前に育休を申し出た男性従業員は専門業務を担っていたため、休まれたら業務に支障が出ると困惑したそう。

けれども「家庭も仕事と同じく大切」という考えから、なんとか実現。その後も育休や育児短時間の利用者が続き、社内にも変化が起きたという。

「今では育児休業取得者が増え、社内にも休みやすい雰囲気になりました。建設業は天候や納期の関係で、どうしても休日出勤が生じます。以前はその代休を積極的に取ろうとする従業員は少なかったのですが、積極的に代休や有休を取る従業員が急増しました」と南澤さんは語る。

はたらく人の声



総務課長 灰野晴枝さん

育児短時間勤務利用後も会社側の配慮で始業だけ 30 分遅らせてもらっています。朝の 30 分は、共働きの我が家ではなくてはならない時間です。そして協力的な周囲の従業員にも大変感謝しています。ちなみに会社に頼む前に旦那に相談したときは「クビになるんじゃないか」と心配されました（笑）

利用した
制度

- 産前・産後休暇
- 育児休業（1年間）
- 育児短時間勤務（子どもが3歳まで）
- 始業時間の変更

取組推進員の思い

家庭と仕事を両立してもらうことは、考えるまでもない、当然のことだと思っています。仕事も大事ですが家庭も同じく大事ですし、何より育児は一生で一度の貴重な経験です。出産や育児で休んだ従業員も難なく復帰してもらい、育児という貴重な経験を経て、人間としての深みを増して、戻ってきてほしいとも思っています。



代表取締役副社長 南澤浩基さん

企業
情報

【代表者】南澤健一郎・南澤浩基
【住所】渋川市渋川 2070-21
【TEL】0279-22-2673 【FAX】0279-25-1558
【URL】<http://minamisawa-kk.co.jp/>
【従業員数】男性 26 名・女性 4 名